

第12回 東大路通歩行空間創出推進会議

平成30年3月27日(火)

○本会議の議題

- 平成29年度の取組
- 平成30年度の取組
- その他
 - 全体スケジュールの更新

○本会議の議題

- 平成29年度の取組
- 平成30年度の取組
- その他
 - 全体スケジュールの更新

平成29年度の取組(これまでの経過)

①取組内容(素案)を作成
(第10回推進会議 平成28年9月5日)

②社会実験実施(平成28年11月)



歩行空間やバス待ち空間の拡大を目的に、バス停形式(バスベイをストリート化)を変更した場合の交通影響等を確認等

③意見交換会開催(平成28年12月)



東山全学区を対象に、取組内容(素案)や社会実験について意見交換(全4会場で86名参加)

④取組内容(案)を提示
(第11回推進会議 平成29年3月29日)

⑤今後の取組内容(別紙 P1, 2)を決定

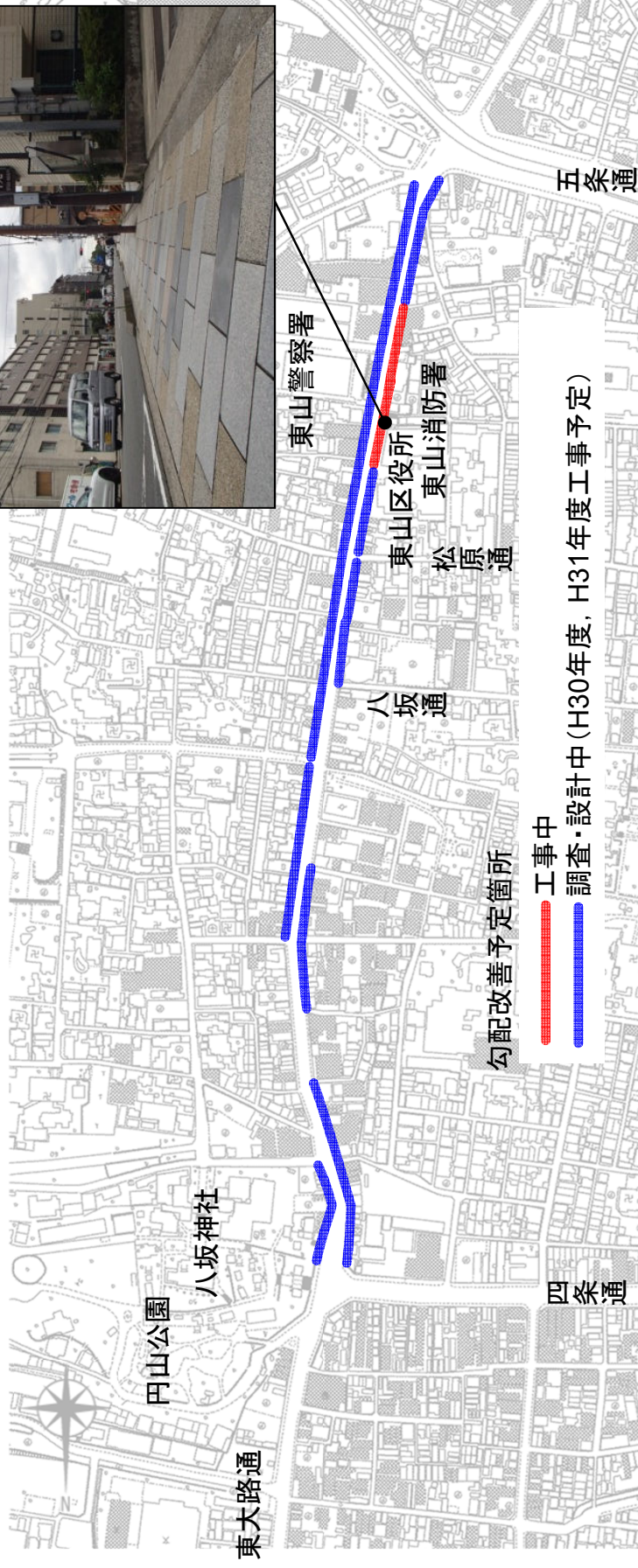
今後の取組内容と意見交換会の結果をホームページに公表(平成29年7月7日)し、市民しんぶん東山区版(平成29年7月版)でお知らせ

平成29年度の取組

取組1：横断勾配の改善

● 取組状況

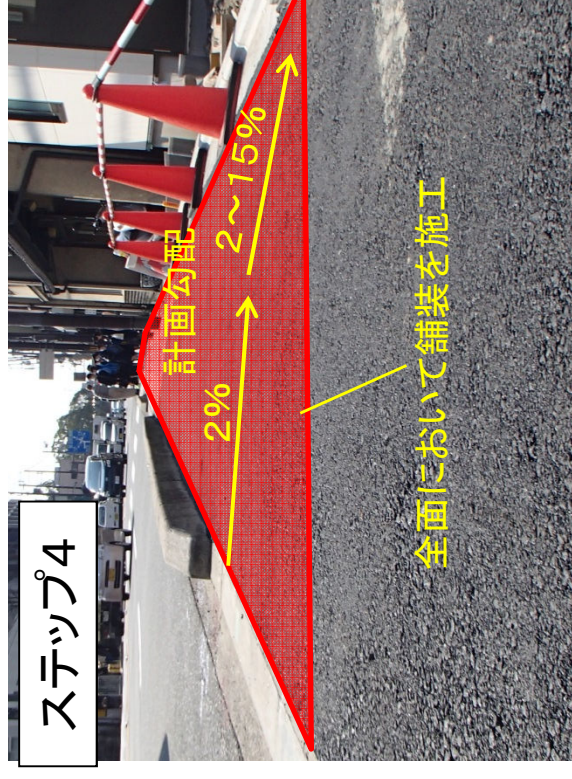
- 特に急勾配区間が多い四条～五条通間において、整備区間を整理するとともに、最も横断勾配が急な区間である西側歩道の東山消防署から南に180mの区間について工事中。



平成29年度の取組

取組1：横断勾配の改善

● 工事の流れ(東山消防署南側周辺)



平成29年度の取組

取組1：横断勾配の改善

● 舗装仕様

- 四条～五条通間において、細やかな勾配調整への対応及び景観への配慮のため、横断勾配の改善と合わせて、場所によって異なる現況の歩道の舗装仕様を、石畳風アスファルト舗装で統一。

現況



改善後イメージ

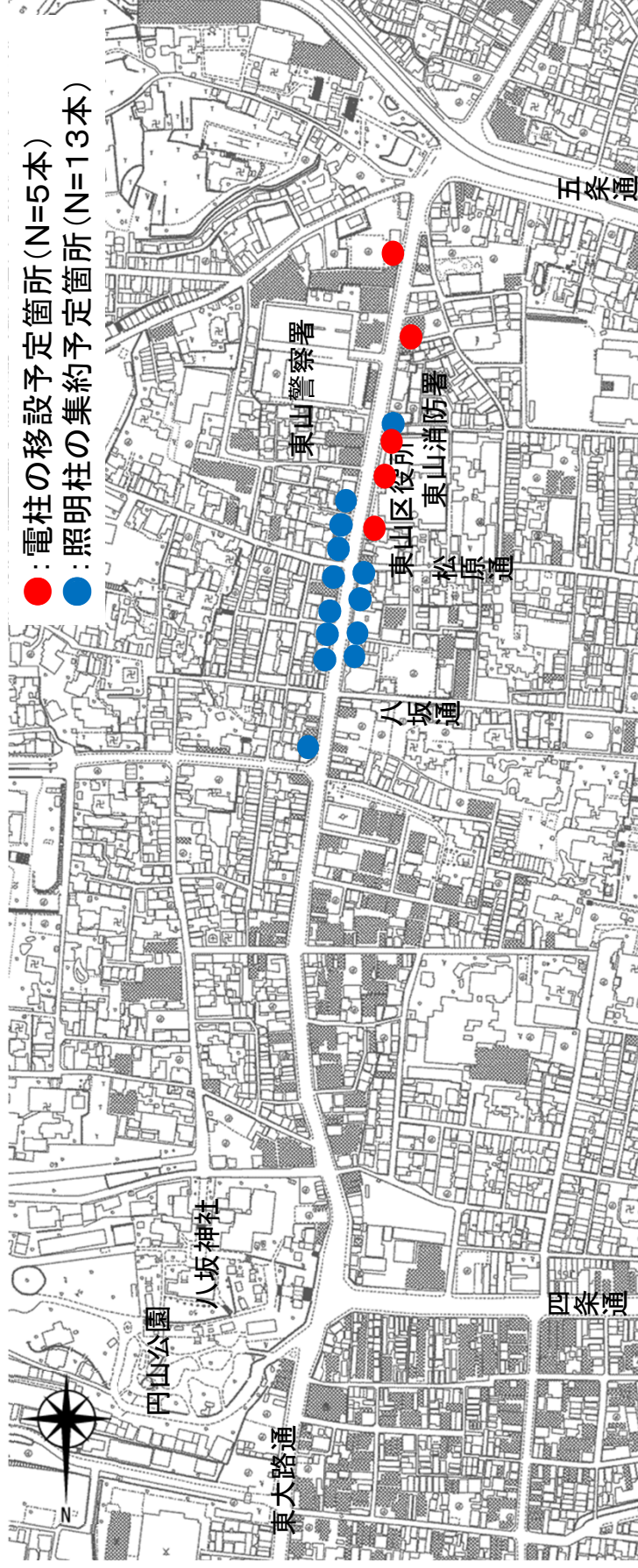


平成29年度の取組

取組2：電柱等の移設と集約

● 取組状況

- ・ 電柱管理者等と協議を実施し，四条～五条通間において，歩道の通行幅を広げるための電柱の移設や，照明柱の集約に着手。
- ・ 三条～四条通間，五条～七条通間の移設・集約に向け，電柱管理者等と協議を実施中。

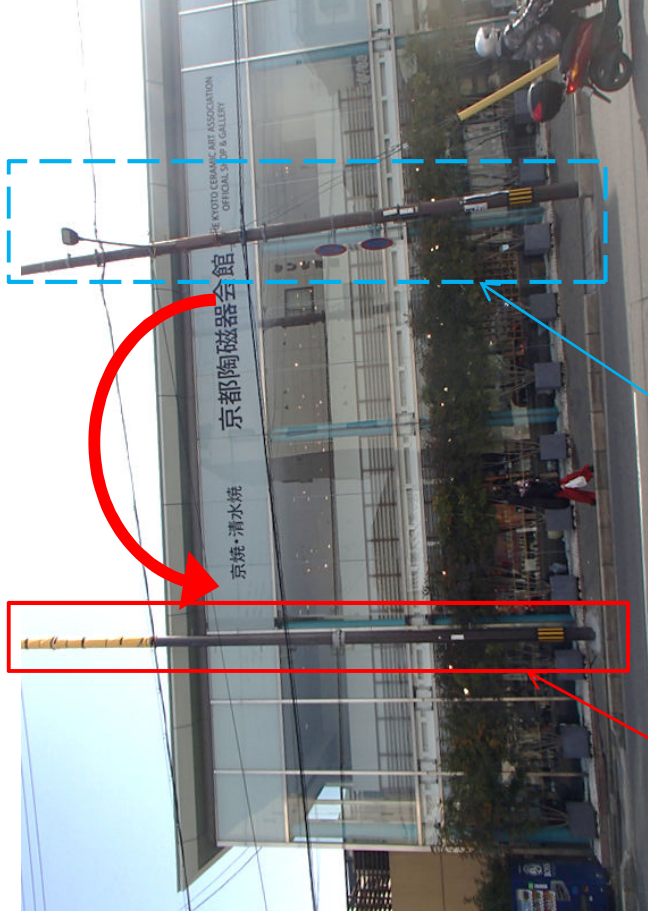


平成29年度の取組

取組2：電柱等の移設と集約

電柱の移設

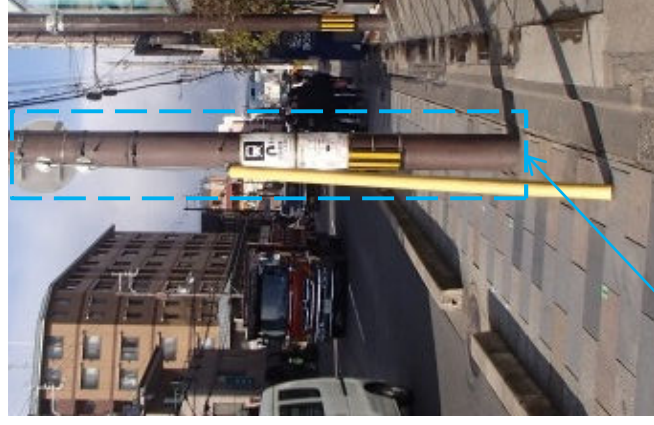
- ・ 陶磁器会館前の電柱を，沿道敷地内に移設し，既設電柱の撤去に向けて調整中。
- ・ その他の電柱については，移設候補地の地下埋設物調査結果を踏まえて関係機関と協議中。協議が整い次第移設を行う。



移設後の電柱

撤去予定の電柱
(既設電柱)

撤去予定の電柱
(既設電柱)



撤去予定の電柱
(既設電柱)



移設後の電柱

電柱移設状況(陶磁器会館前)

平成29年度の取組

取組2：電柱等の移設と集約

照明柱の集約

- ・ 歩道内にある照明柱を電柱へ集約し、歩道内の通行幅を広げる工事に着手。
- ・ 不要となる照明柱の撤去に向けて調整中。

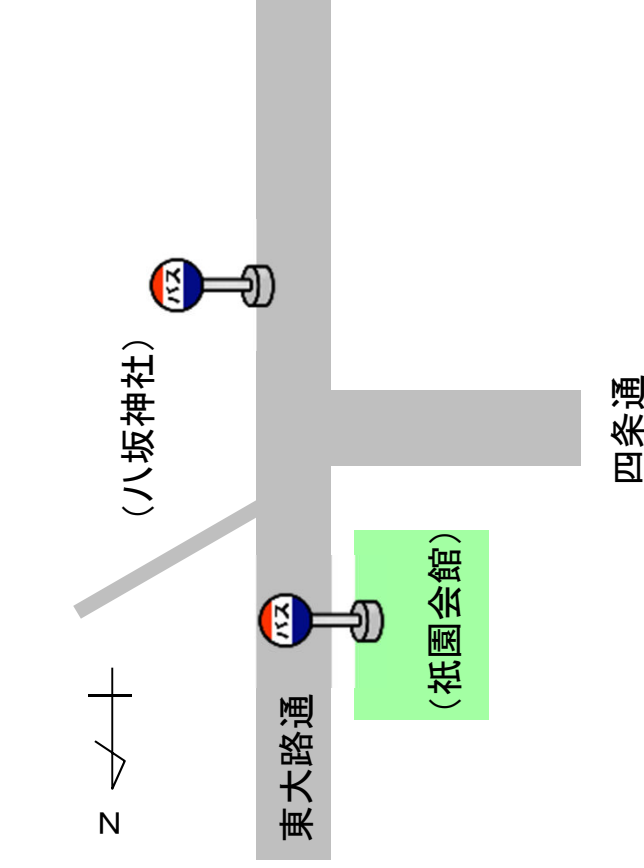


集約イメージ(京都銀行前)

● 取組状況

祇園バス停

- ・ 北行バス停については、京都府警との協議が完了し、平成30年度の工事着手に向け準備中。
- ・ 南行バス停については、関係機関との協議を継続実施中。

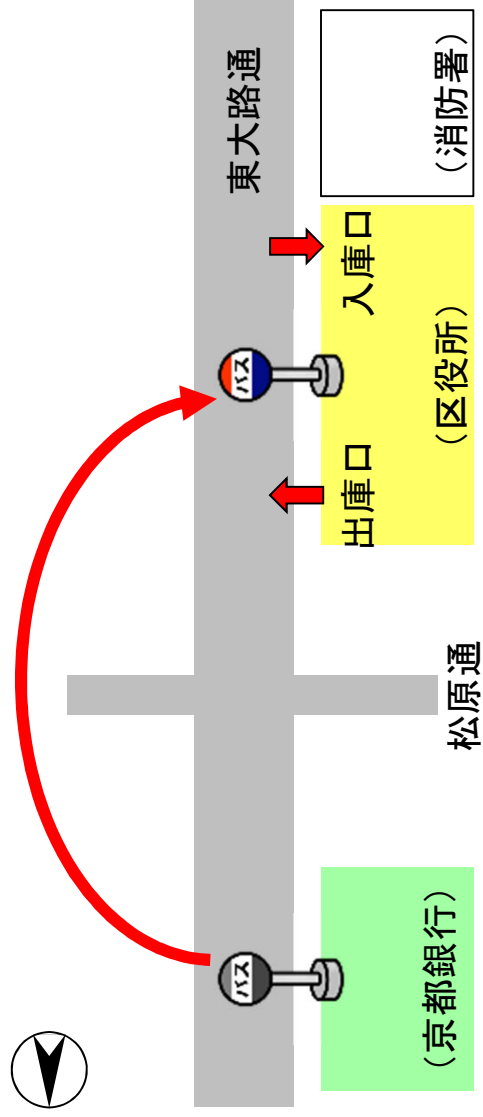


祇園バス停(北行)

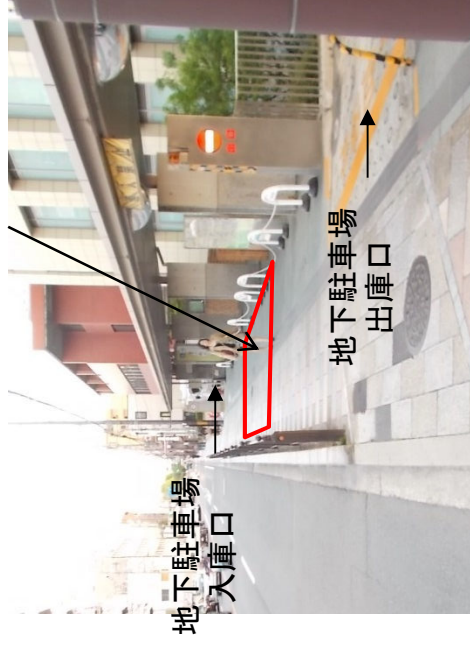
● 取組状況

清水道(北行)バス停

- 区役所の地下駐車場出入り口の間にバス停を移設することになるため、バス待ち客、歩行者、及び地下駐車場の入出庫車両の安全性について継続検討中。



バス停移設候補箇所



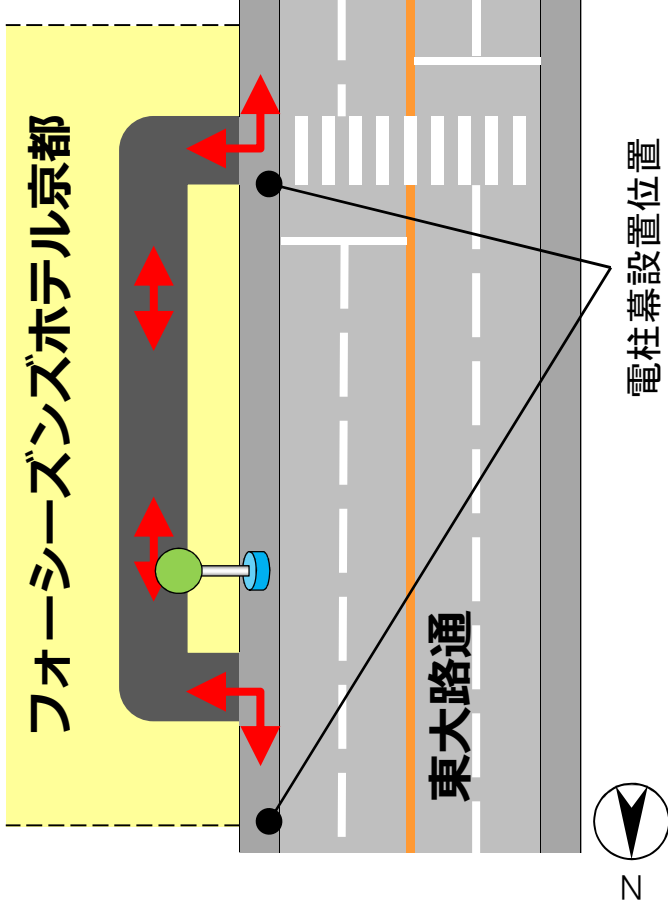
平成29年度の取組

取組4: バス停移設

取組状況

馬町(南行)バス停

- フォーシーズンズホテル京都の遊歩道設置にあわせてバス停を移設しており、歩行空間の創出に向け、遊歩道を有効に活用していただけるよう、市民しんぶんへの記事掲載や、電柱幕を設置。



市民しんぶん東山区版(H29年4月号)に記事を掲載してPR



遊歩道入口部の電柱に遊歩道の利用を促す電柱幕を設置(H30年3月実施)

平成29年度の取組

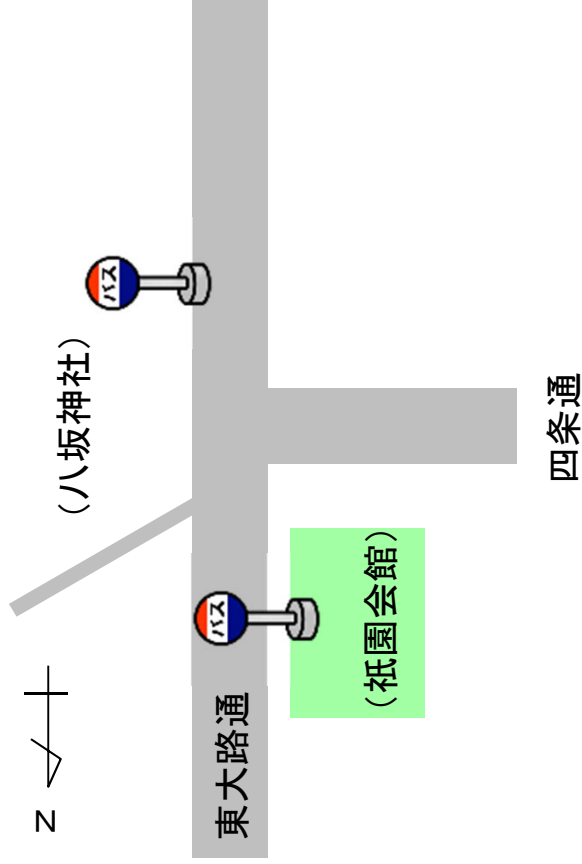
取組5: バス待ち空間の確保

● 取組状況

祇園バス停

再掲

- ・ 北行バス停については、京都府警との協議が完了し、平成30年度の工事着手に向け準備中。
- ・ 南行バス停については、関係機関との協議を継続実施中。



祇園バス停(北行)

平成29年度の取組

取組5: バス待ち空間の確保

● 取組状況

五条坂(北行)バス停

- バス待ち空間と歩行空間を明確にするために、路面表示を設置。
 - 混雑状況にもよるが、バス待ち客がバス待ち空間に並んでいる状況が確認できた。



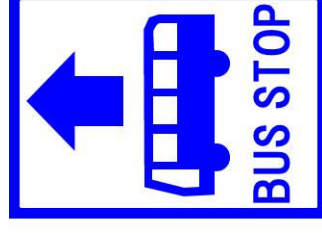
路面表示設置前



路面表示設置後



(バス停標識前に設置)



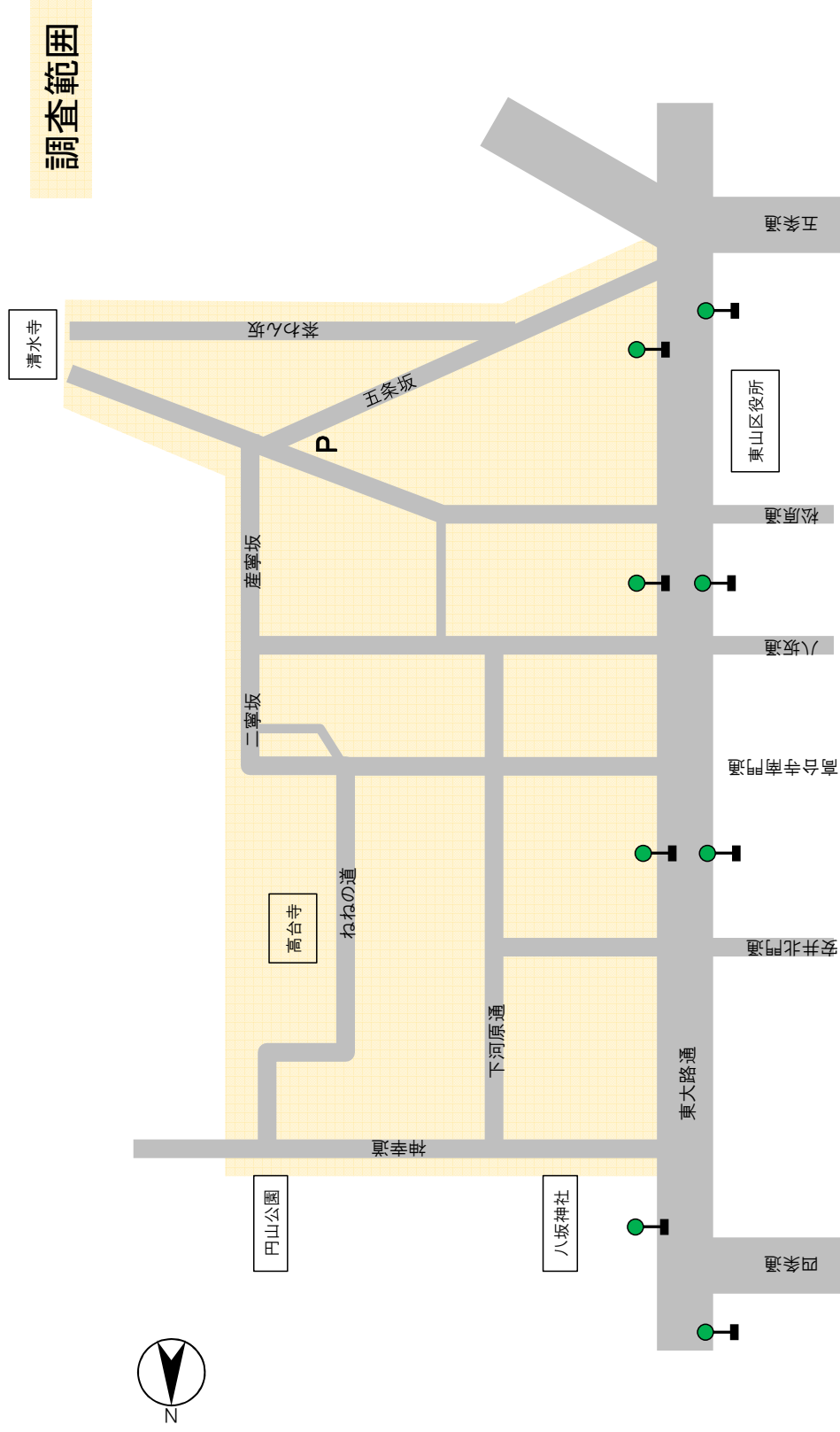
路面表示デザイン

平成29年度の取組

取組6：魅力ある道路整備による誘導促進

● 取組状況

- 魅力ある道路整備等の路線を検討するため、歩行者が特に多い東大路通(四条～五条通間)より東側のエリアにおいて、歩行者交通量調査及び歩行者流動調査を実施し、歩行者等の通行状況を把握。



平成29年度の取組

取組6：魅力ある道路整備による誘導促進

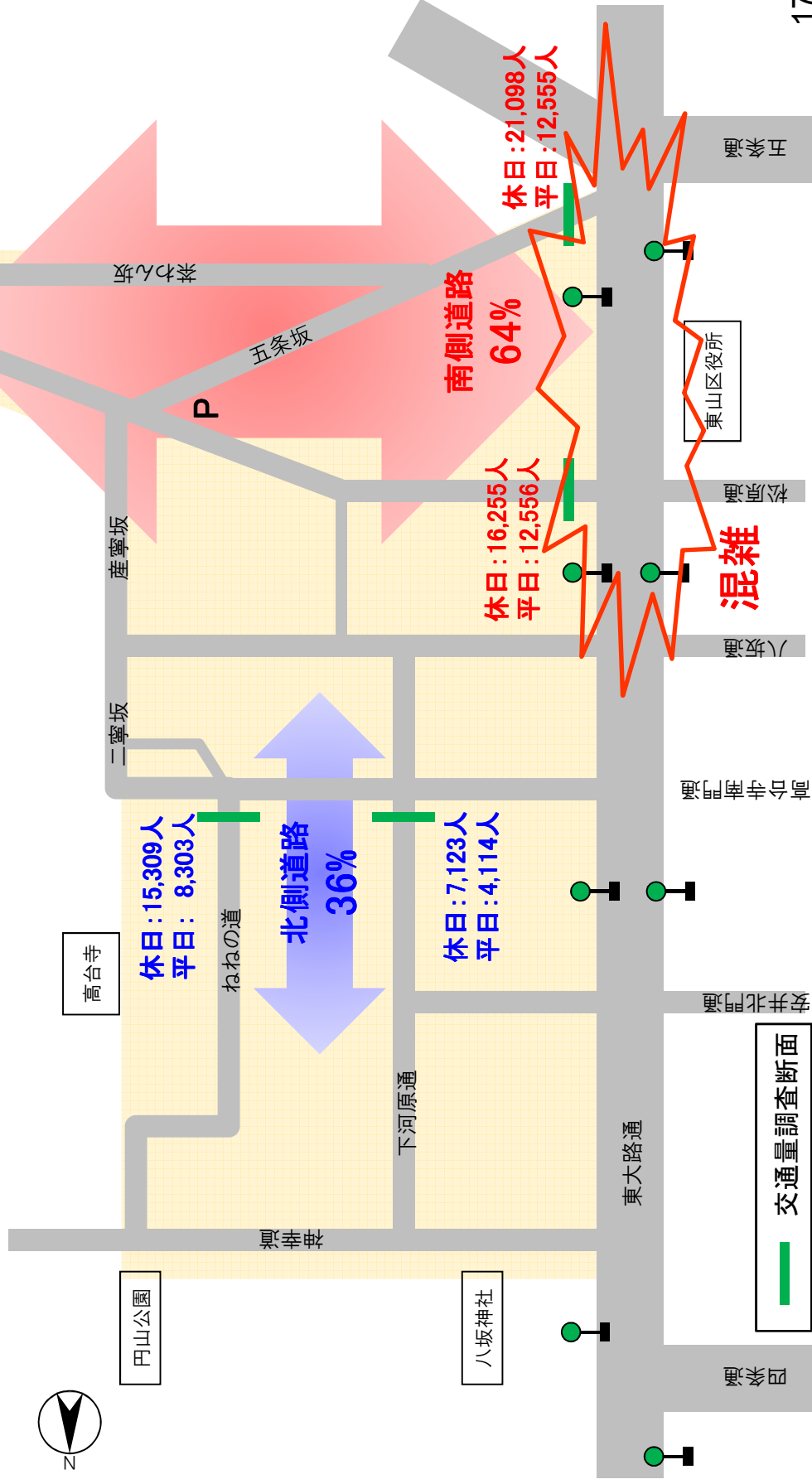
歩行者交通量調査結果

対象：歩行者

データ：11月12日(日),13日(月) 7～19時

- 調査範囲内の主要な道路において、調査員が歩行者数をカウント。
→ 歩行者割合は、「南側：北側＝64%：36%」となっており、調査範囲南側の混雑が顕著。

調査範囲



平成29年度の取組

取組6：魅力ある道路整備による誘導促進

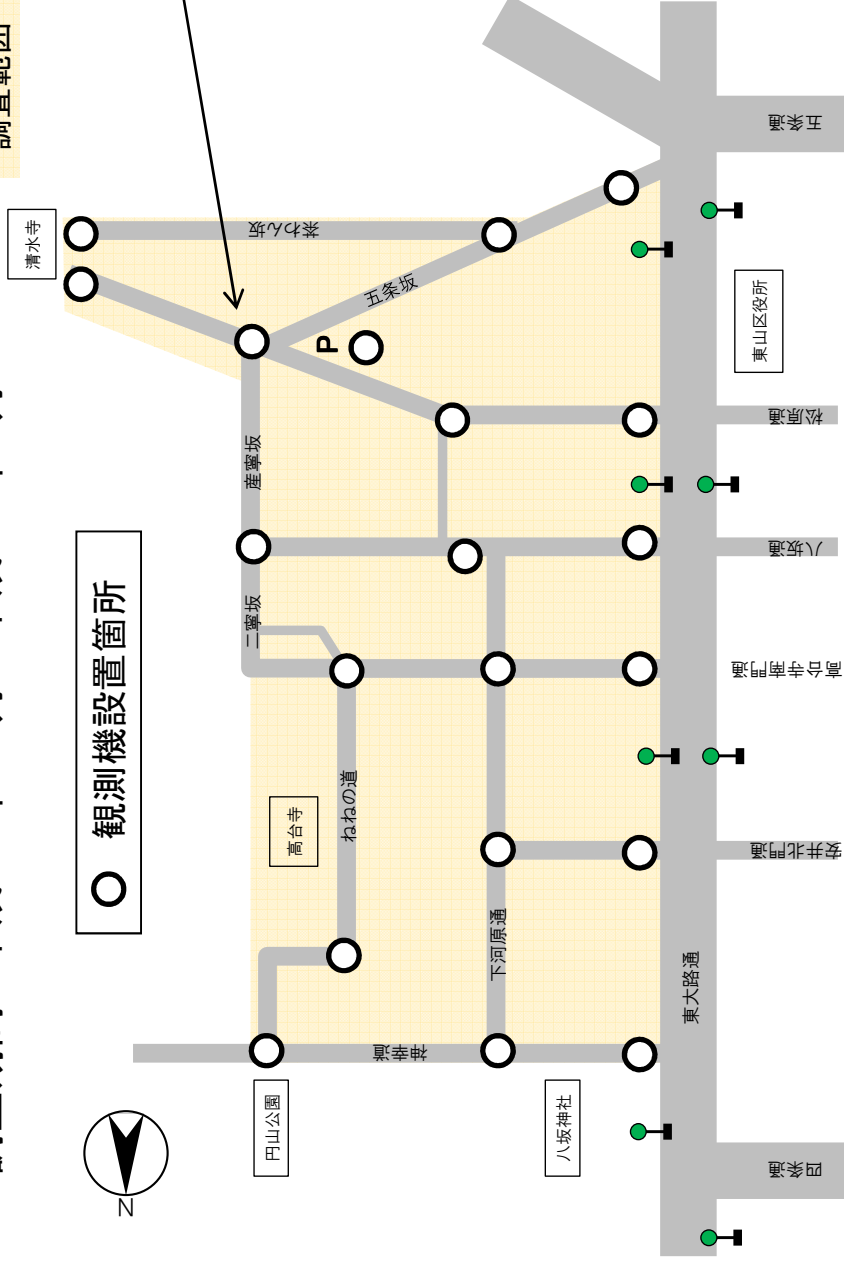
歩行者流動調査

調査概要：調査範囲内の主要な交差点に20基設置した観測機が、Wi-Fi機能をオンにしたスマートフォン等が発する情報(Wi-Fiパケット)を受信することにより、交差点間の歩行者数や調査範囲内への流入・流出状況を把握。

※調査員がカウントする交通量調査では、調査実施日しか状況を把握できないのに対し、本調査は一定期間のデータにもとづく分析が可能(実態に近い把握が可能)

調査期間：平成29年10月～平成30年3月

調査範囲



産寧坂一松原通交差点



観測機



平成29年度の取組

取組6：魅力ある道路整備による誘導促進

歩行者流動調査結果①

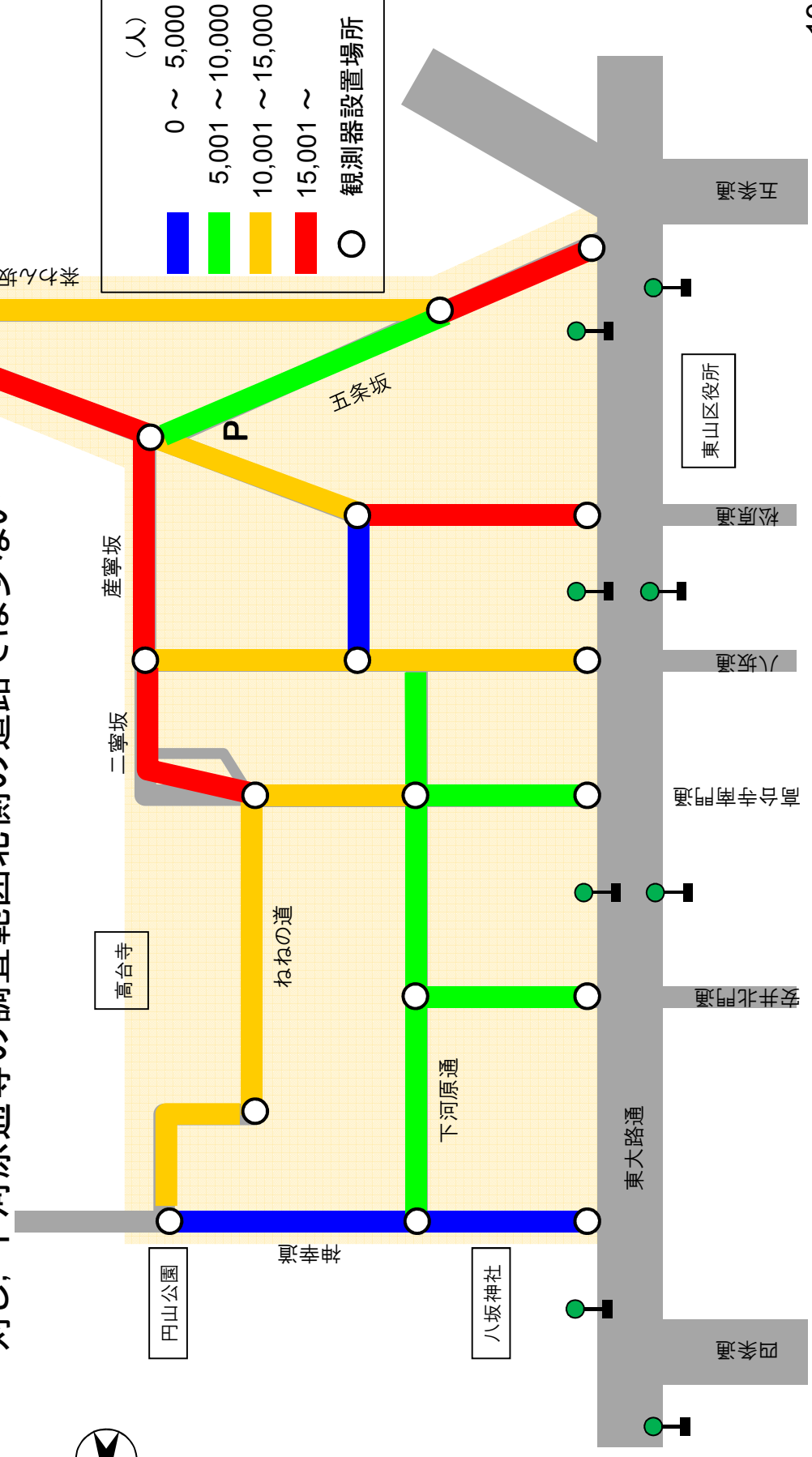
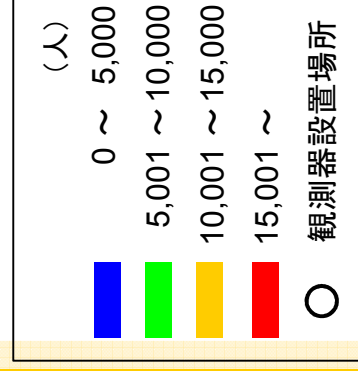
対象：歩行者

データ：11月の日平均推計値

- 交差点間の歩行者数

→ 調査範囲南側の道路は多くの歩行者が通行しているのに
対し、下河原通等の調査範囲北側の道路では少ない

調査範囲



平成29年度の取組

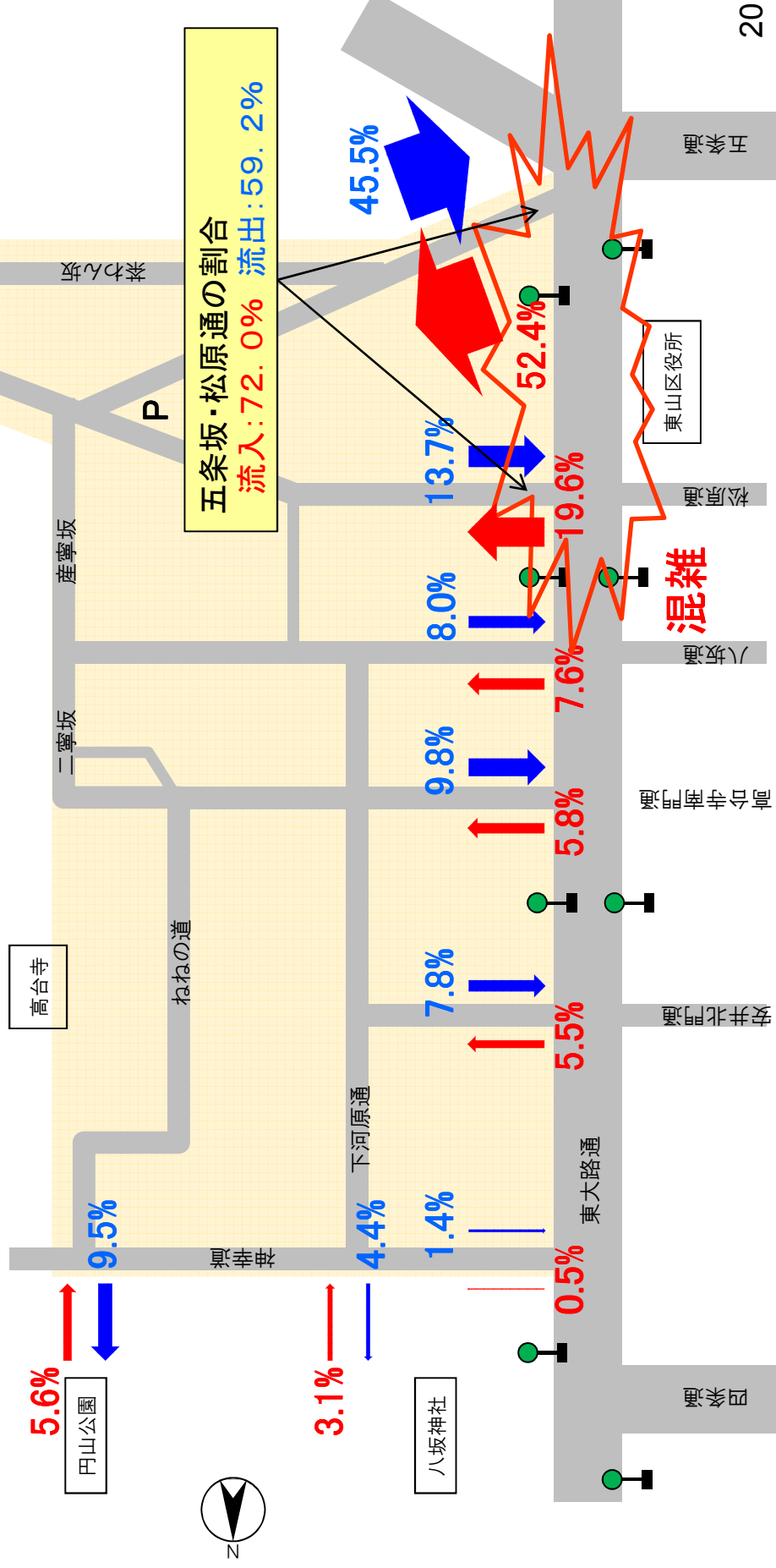
取組6：魅力ある道路整備による誘導促進

歩行者流動調査結果②

対象：歩行者
データ：11月の日平均推計値

- 清水寺周辺を通行した歩行者※の、調査範囲内への流入・流出割合
→ 流入・流出割合は、調査範囲南側の五条坂・松原通が約6割を占めており、清水寺周辺を訪れる歩行者の多くが、五条坂・松原通を利用する傾向にある。

※清水寺前で観測機が受信した人を対象

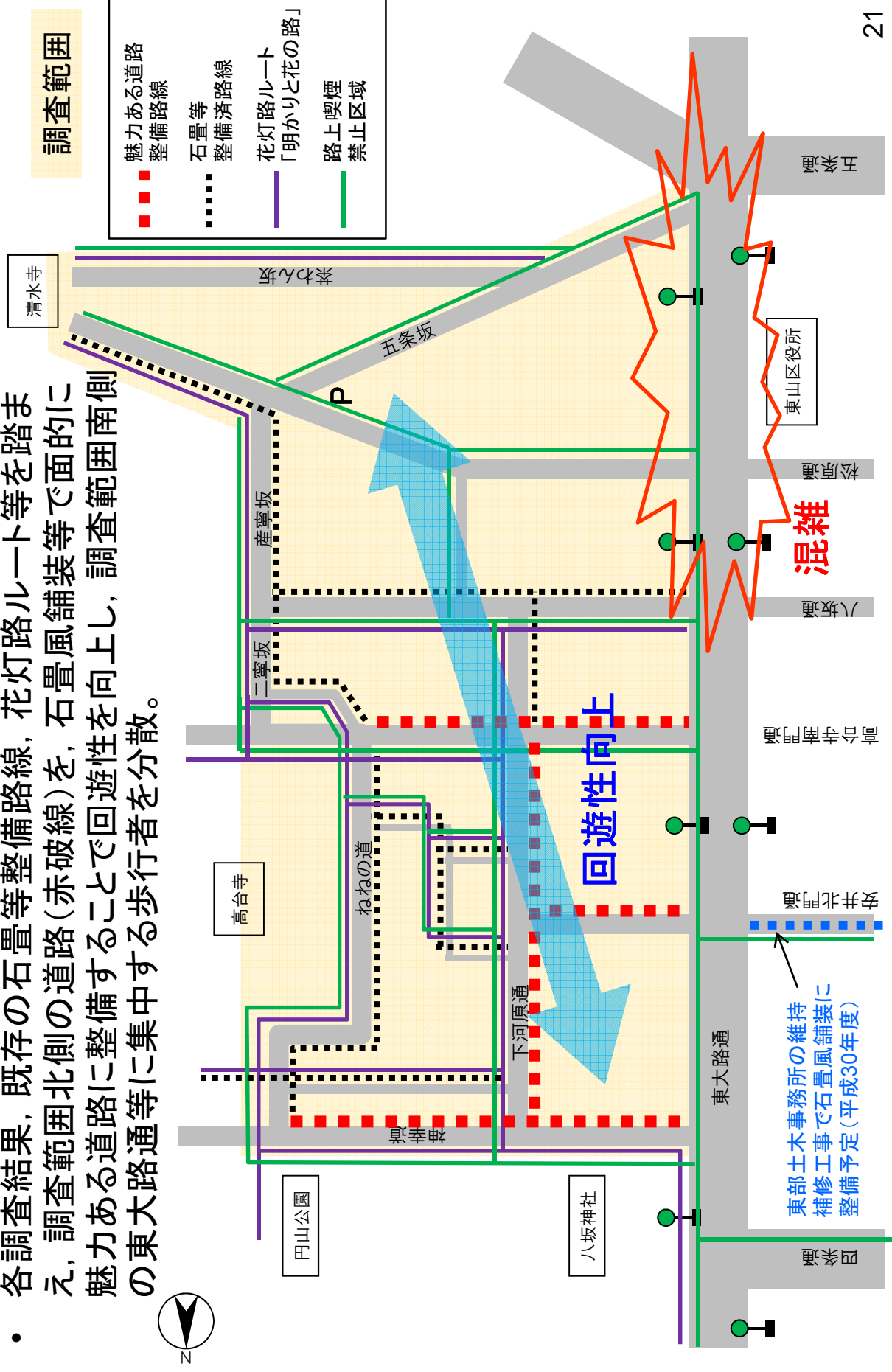


平成29年度の取組

取組6：魅力ある道路整備による誘導促進

● 検討結果

- 各調査結果，既存の石畳等整備路線，花灯路ルート等を踏まえ，調査範囲北側の道路（赤破線）を，石畳風舗装等で面的に魅力ある道路に整備することで回遊性を向上し，調査範囲南側の東大路通等に集中する歩行者を分散。





平成29年度の取組

取組6：魅力ある道路整備による誘導促進

● 整備内容

石畳風アスファルト舗装の整備



景観に配慮した照明灯の整備



白色照明灯が中心

暖色系に統一（花灯路と同一色）

平成29年度の取組

取組7：案内標識等の充実

● 取組状況

案内標識の充実

- 魅力ある道路整備（取組6）と連携し，整備路線を回遊してもらったため，案内標識等の追加設置について検討中。



補助案内標識設置（七条通～東福寺間に拡大）

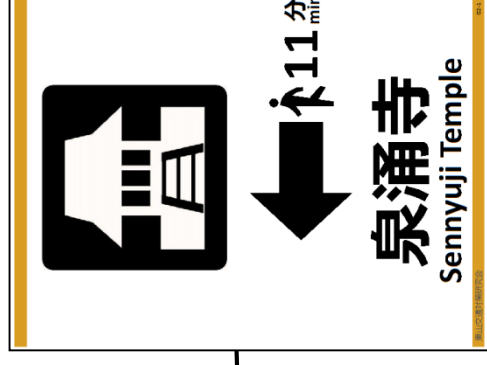
- 昨年度，社会実験（四条～五条通間）で効果のあったピクトグラムを強調した補助案内標識の設置を継続実施。
- 今年度は，新たに東大路通（七条通～東福寺間）において，地域の取組である三ヶ寺巡り（東福寺，泉涌寺，智積院）を踏まえた補助案内標識を設置。



清水道交差点（四条～五条間）



泉涌寺交差点（七条通～東福寺間）



補助案内標識

平成29年度の取組

取組8: バス利用環境の改善

● 取組状況

市バスのダイヤ改正

- ・ 本年3月17日からの市バス「新ダイヤ」では、通勤、通学や通院、お買い物など、日頃のお出かけでのご利用の多い系統の混雑緩和を目指し、車内の混雑度合いが高まっているエリアを運行する路線で増便などを実施。

【東大路通では】

○ 洛バス100号系統の増便

※平日 54 → 70回/日, 土曜・休日 60 → 76回/日

⇒ 206号系統の混雑緩和

○ 86号系統, 楽洛東山ラインの四条河原町への経路延長

※土曜・休日 33回/日程度

⇒ 207号系統の混雑緩和

○ 202号系統の京都駅八条口乗入れ便の拡大

※土曜17時台の4回のうち, 2回を京都駅八条口アバンティ前

經由に変更

⇒ 206号系統などの混雑緩和



平成29年度の取組

取組8: バス利用環境の改善

● 取組状況

「前乗り後降り方式」実証実験

- 市バスの混雑緩和を目指し、前扉を乗車口として先に運賃をお支払いいただき、車両の中ほどにある広い後扉からスムーズに降車いただく「前乗り後降り方式」の実証実験を洛バス100号系統で実施。
- その結果、乗降時間やバス停でのバスの停車時間の短縮、お客様の車内でのスムーズな移動に効果が認められ、お客様からの好意的な評価をいただいた。

新しい一日乗車券の発売

- 3月17日から従来の「京都観光一日(二日)乗車券」と「市バス・京都バス一日乗車券カード」を新しい価格と名称で発売。
- 新しくなった「地下鉄・バス一日券」なら、地下鉄全線、市バス全線、京都バス(一部路線を除く)に加え、東大路通を運行する京阪バスも900円で一日乗り放題に。



平成29年度の取組

取組9：自動車交通の最適化

● 取組状況

- 平成27年度に実施した，全国道路・街路交通情勢調査（平成29年6月公表）から市内全域や東大路通等の自動車交通量の推移を把握。

市内の交通量推移

- 一般道路の交通量は，平成22年度と比較して市内全体では8.1%減少，市内中心部^{※1}では6.0%減少。
- 高速道路の交通量は，平成22年度と比較して市内全体では4.8%増加。

※1 市内中心部：上京区，中京区，下京区，東山区

■ 年度別交通量

	平成22年度 (台/12h)	平成27年度 (台/12h)	変化率	
			H22→H27	
一般道路	市内全体	8,382	7,705	8.1%減少
	市内中心部 ^{※1}	22,308	20,972	6.0%減少
高速道路（市内全体）	34,994	36,667		4.8%増加

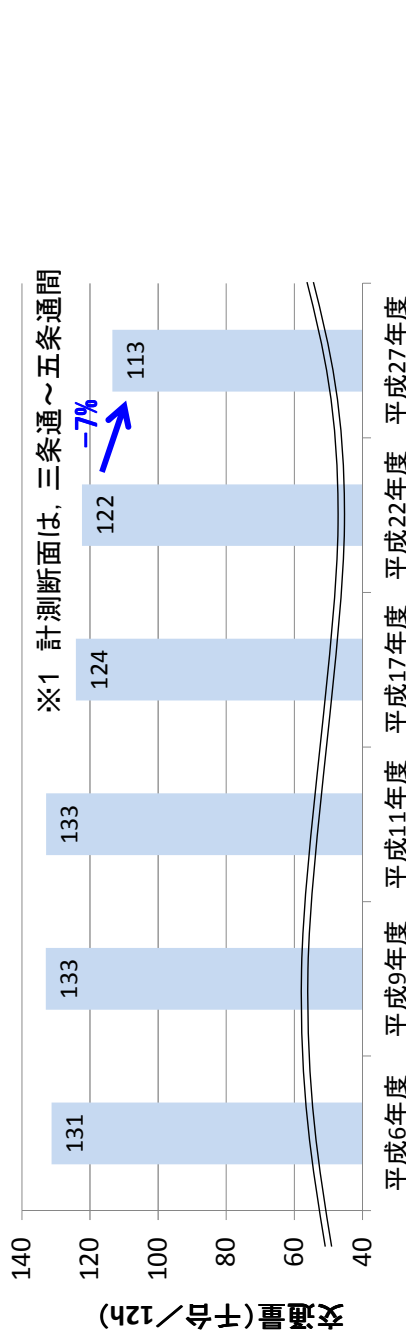
平成29年度の取組

取組9：自動車交通の最適化

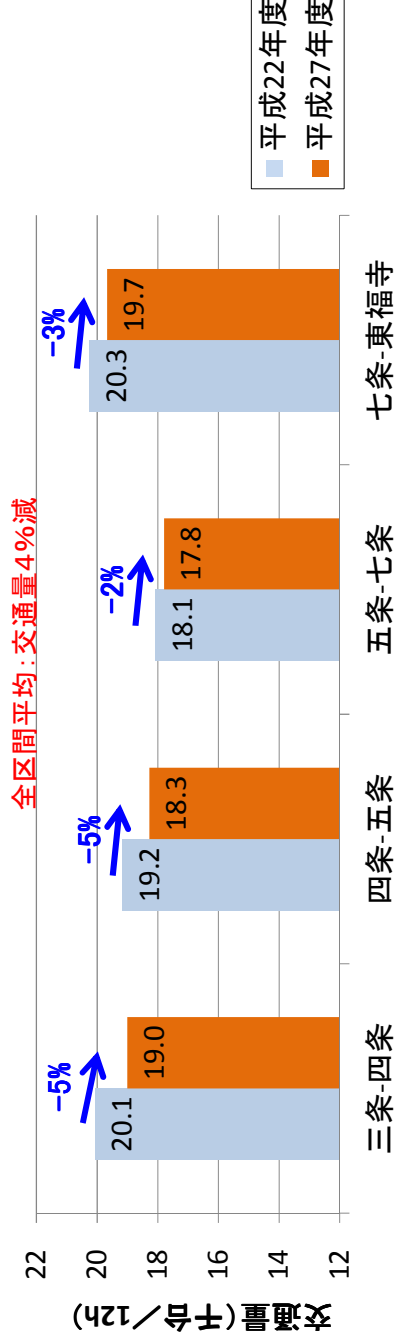
周辺幹線道路や東大路通の交通量推移

- 周辺の幹線道路では約7%の自動車交通量が減少。
- 東大路通では約4%自動車交通量が減少(周辺道路よりも減少割合が少ない)。

■ 主要な幹線道路(川端通, 河原町通, 烏丸通, 堀川通)の交通量※1推移



■ 東大路通の交通量推移



平成29年度の取組

取組9：自動車交通の最適化

(参考) ICT・AIを活用した観光渋滞対策

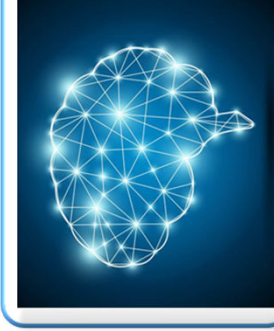
- 国土交通省では、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、観光渋滞対策の実証実験を実施する「観光交通イノベーション地域(京都市, 鎌倉市)」を選定。
- 平成30年2月7日に第1回会議を開催するとともに、対策の検討に向け、京都駅や東山・嵐山地区等のクルマや人の移動状況の把握を行う予定。

革新的な技術



ICT

- ETC2.0、高度化光ビーコン、AIカメラ等で人や車の動きを収集
- AIの分析・予測結果に基づき人や車の流れを最適化



AI

- 過去の渋滞発生履歴をAIが学習・分析
- 交通の変化をAIが判断し渋滞発生を予測

ビッグデータ(観光客・車・公共交通等)

エリアマネジメント

観光交通イノベーション地域



交通需要マネジメント(TDM)

信号制御、交通規制等

道路空間の再編等

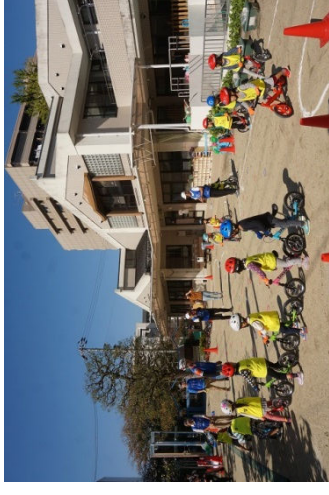
平成29年度の取組

取組10: 自転車のルール・マナーの啓発

● 取組状況

安全教育の実施

- ・ 全市的な自転車のルール・マナー教育の一環として、東山区においても、自転車安全教育を実施



東山区における平成29年度の自転車安全教育

安全教育実施状況(三条保育所)

- 自転車交通安全教室(小学生向け): 開晴小学校, 東山泉小学校
- 事故のリスク・社会的責任編(中学生・高校生向け): 日吉ヶ丘高等学校
- キックバイクを用いた子ども自転車教室(幼児向け) : 三条保育所

啓発看板の設置

- ・ 警察署やライオンズクラブと連携し、区内の放置自転車が多い箇所(電柱看板(電柱幕)を設置【自転車の放置に係る啓発】)
- ・ 京都女子大学と連携し、外国人にも分かりやすいピクトグラムを活用した電柱幕を作成【自転車の走行に係る啓発】



電柱幕

(路上駐輪禁止)

○本会議の議題

- 平成29年度の取組
- 平成30年度の取組
- その他
 - 全体スケジュールの更新

平成30年度の取組(取組内容)

取組1:横断勾配の改善	特に急勾配区間が多い四条通～五条通間において、歩道の横断勾配改善を継続
取組2:電柱等の移設と集約	電柱管理者や関係機関と協議を進め、三条～四条通間、五条通～七条通間の整備に着手
取組3:部分的な歩道拡幅	祇園(北行)バス停の工事に着手し、祇園(南行)バス停の関係機関との協議を継続
取組4:バス停移設	清水道バス停(北行)の移設に向けた協議と検討
取組5:バス待ち空間の確保	前述のとおり(取組3:部分的な歩道拡幅と同様)

平成30年度の取組(取組内容)

取組6: 魅力ある道路整備による誘導促進	石畳風アスファルト舗装及び景観に配慮した照明灯の整備を実施※
取組7: 案内標識等の充実	取組6と連携し、関係機関との協議が整い次第、案内標識等を追加設置補助案内標識設置の継続実施
取組8: バス利用環境の改善	東山地区のバス利用状況等を踏まえた混雑改善策の検討(市バスのダイヤ改正や、前乗り後降り方式に向けた検討)
取組9: 自動車交通の最適化(道路空間の再構成)	自動車の流入抑制(パークアンドライド、公共交通の利便性向上)や、道路の容量拡大(新十条通の無料化、鴨川東岸線の整備等)を継続
取組10: 自転車のルール・マナーの啓発	小学校などにおける自転車交通安全教育等、自転車のルール・マナーの啓発を継続 自転車のルール・マナーを啓発する電柱幕を設置

※: 国の補助金を活用するため、国の予算措置状況により変更する可能性がある

- 平成29年度の取組
- 平成30年度の取組
- その他
 - 全体スケジュールの更新

その他(全体スケジュールの更新)

平成29年度の取組状況および平成30年度の取組を踏まえ、今後の取組内容のうち、全体スケジュールを更新

<全体スケジュール 別紙 P. 3>

当初(第11回推進会議)

	短期～中期 H28	H29	H30	H31	H32	長期 H33～
取組1： 横断勾配の改善	検討・測量 四條～五條	四條～五條				
取組2： 電柱等の移設と集約	検討 四條～五條	四條～五條				
取組3： 部分的な歩道拡幅	事前実施 バス停部の拡幅(相国バス停) 社会実験 相国バス停					
取組4： バス停移設	バス停移設(兼水運北行) 社会実験 水運バス停(北行)					
取組5： バス待ち空間の確保	事前実施 馬国バス停(南行) バス停部の拡幅(相国バス停) 社会実験 相国バス停					
取組6： 魅力ある道路整備による誘導促進	魅力ある道路整備 社会実験 四條～五條					
取組7： 案内標識等の充実	補助案内標識(セフトグラム)による誘導 社会実験 継続実施					
取組8： バス利用環境の改善	継続検討					
取組9： 自動車交通の最適化(道路空間の再構成)	継続検討					
取組10： 自転車のルール・マナーの啓発	継続検討					
	これらの取組の効果検証及び交通状況の変化を踏まえ、今後の方向性を検討					

更新(平成30年3月時点)

	短期～中期 H28	H29	H30	H31	H32	長期 H33～
取組1： 横断勾配の改善	検討・測量 四條～五條	四條～五條				
取組2： 電柱等の移設と集約	検討 四條～五條	四條～五條				
取組3： 部分的な歩道拡幅	事前実施 バス停部の拡幅(相国バス停) 社会実験 相国バス停					
取組4： バス停移設	バス停移設(兼水運北行) 社会実験 水運バス停(北行)					
取組5： バス待ち空間の確保	事前実施 馬国バス停(南行) バス停部の拡幅(相国バス停) 社会実験 相国バス停					
取組6： 魅力ある道路整備による誘導促進	魅力ある道路整備 社会実験 四條～五條					
取組7： 案内標識等の充実	補助案内標識(セフトグラム)による誘導 社会実験 継続実施					
取組8： バス利用環境の改善	継続検討					
取組9： 自動車交通の最適化(道路空間の再構成)	継続検討					
取組10： 自転車のルール・マナーの啓発	継続検討					
	これらの取組の効果検証及び交通状況の変化を踏まえ、今後の方向性を検討					

関係機関との協議状況等を踏まえ、期間延長

取組内容を反映